

自己評価等結果報告書

令和 6 年 3 月 22 日

宮 崎 市 長 殿

届出者所在地 宮崎市神宮東2丁目6-1

事業者名 株式会社アライヴ

代表者名 千葉 利広

印

1. 事業所の状況

事業所の名称	ふあいん神宮		
事業所の所在地	宮崎市神宮東2丁目6-1		
事業の種別	<input type="checkbox"/> 児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス	
事業所番号	4550100574		
連絡先	TEL	0985-71-2901	E-mail fine712901@gem.bbia.jp

2. 取組時期

① 保護者等による評価	令和 6 年 2 月 18 日	～	令和 6 年 3 月 8 日
② 職員による評価	令和 6 年 2 月 18 日	～	令和 6 年 3 月 8 日
③ 事業所全体による評価	令和 6 年 3 月 11 日	～	令和 6 年 3 月 15 日

3. 公表方法

公表日	令和 6 年 3 月 22 日
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ (URL: fine712901@gem.bbia.jp) <input checked="" type="checkbox"/> 紙媒体を掲示のうえ、保護者へ配布 <input type="checkbox"/> その他 ()
公表内容 (届出書類)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所における自己評価結果 (公表用) <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表用)

担当者名	長友 大輔
連絡先	0985-71-2901

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 22日

事業所名 ふあいん神宮

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1			活動によっては、狭く感じる時もあるので分散して活動を行うようにしている。
	2	職員の配置数は適切である	5	3			休みが重なると職員不足を感じる。基準人員を下回らないように勤務表の見直しを行って行く。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	4		構造上階段があるので、手摺や踏板に滑り止めを取り付けている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3	1		前年よりは、少しずつ業務改善されているがまだ不足しているので継続して改善を行って行く。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1			アンケート調査や、送迎時などで改善点ができれば職員間で共有し改善出来る所は行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1			ホームページで公開しているが、保護者への周知が不足しているので伝達方法を検討する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			8		第三者は設けているが、評価には繋がっていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8				定期的受講し、報告書の回覧と伝達研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8				児発管を中心に行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2	1		アセスメントツールは使用していないが、随時課題が出た時に職員間で話し合い実践している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8				児発管を中心に、職員で話し合い決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8				固定化しないように、全職員の意見を取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8				長期休暇は難しい時もあるが、課題を決めて支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8				児童の状況に合わせて、個別と集団活動を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8				朝礼で打ち合わせを行い、非常勤職員にも伝達している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8				終礼で打ち合わせを行い、翌日の朝礼でも伝達して 共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8				正しく記録を記入している。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8				実施を行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	1			ガイドラインを回覧し、それに基づいて支援を行っている。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8				児発管が参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8				学校や保護者と連携して下校時刻の間違えがないように注意している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4	4			受け入れる場合に整える。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	4	2			全員ではないが、共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4	3			対象児童がいないが、引継ぎシートで情報を提供する準備は出来ている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	6				全職員は参加出来ていないので、今後機会を設ける。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			8			感染症予防もあり行えていないが、今後機会を設けたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		2	6			感染症予防もあり行えていないが、今後機会を設けたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8					送迎時や電話などでその日の状況や、気になる点があった時は伝達している。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	3			送迎時に話を聞いていたりしているが、今後取り組んで行く。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8					適切に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1				相談を受けた時に、職員間でも共有して支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			8			保護者会を行っていない。 今後も予定はしていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8					迅速かつ適切に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2				会報等は発行していないが、毎月の活動予定表を配布している。
	35	個人情報に十分注意している	8					鍵付きキャビネットに保管している。個人情報の記載しているものは、シュレッダーで処分している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8					配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			8			現在行えていないが、今後機会を設けたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8				職員間で共有しているが、保護者への周知が不足しているため、マニュアルを配布する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8				定期的に避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8				定期的に研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2	2		対象児童はいないが、マニュアルは策定している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	2		保護者との確認をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	2			事業所内で共有している。